

研究実践講座「研究実践報告 11/26」発表者募集要項

「研究実践報告 11/26 (日)」9:30-16:30

【主旨】 食物アレルギーに関わる研究および園や学校または地域における実践報告

【発表方法】 **Powerpoint を使用しての報告**

【発表時間】 発表時間 10分 質疑応答 5分

【応募締切】 **8月31日(木) (期限厳守)**

下記の応募提出資料を支援ネット (info@alle-net.com) まで提出

実践報告当日の発表資料は、10月29日(日)までに提出(期限厳守)

申込締切後の内容の変更は受付いたしません。

【応募提出資料】

1. テーマ
2. 食物アレルギーに関わる実践内容とその効果、今後の課題(400~800字以内)

【募集人数】5人程度 ※**応募者多数の場合は、応募締め切り後に選考**

【選考について】

1. アレルギー大学で学んだことを活かした内容となっているか。
2. 活動内容がアレルギーの普及啓発となっているか。

※**選考結果は、応募締め切り後1ヶ月以内にご連絡いたします。**

参考 食物アレルギーマイスターについて

【食物アレルギーマイスター】 ~あなたも認定を受けて活躍しませんか~

アレルギーで悩む子どもやご家族の大きな支えとなる「食物アレルギーマイスター」。

アレルギー大学で専門知識と技術を習得したうえで実践報告を行い、認定委員会の審査に合格した方が資格取得できます。(厚生労働省資格ではありません。)

【食物アレルギーマイスター取得には】

研究実践講座での発表は、「食物アレルギーマイスター」申請条件に必要な単位として評価を行い、実績としてカウントされます。

必須条件 1. 上級講座まで修了

2. 研究実践講座と研究実践実習をそれぞれ2回以上受講

3. 研究実践で2回以上発表、

2回合格(研究実習×2回、研究実践報告×2回、研究実習×1回と研究実践報告×1回のどれでも可)

4. 上級講座「医学Ⅴ」・「保育学校管理Ⅱ」をそれぞれ2回以上受講

マイスター申請に必要な単位を取得すると、マイスター申請が可能になります。

マイスター認定委員会にて審査をし、合格者はアレルギー支援ネットワークの正会員(年会費：5,000 円)として入会后、「食物アレルギーマイスター」として登録し、認定証（認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク発行）を授与いたします。**マイスター認定後は 5 年ごとに、活動及び本大学の再受講単位などの状況を総合評価し更新となります。**

【アレルギー支援ネットワークが食物アレルギーマイスターに期待すること・求めること】

常にアレルギーに関する最新の情報収集や知識の習得に務め、地域や職場において、医療機関や自治体と連携をし、アレルギー疾患を持つ患者家族の QOL の向上のために活動することを期待しています。

名刺に記載するなど、マイスターであることをアピールしていただくことをお勧めします。

<具体的な連携先の例>

医療機関（アレルギー専門医）

保健所・保健センター

保育園・保育課

学校・教育委員会

防災課・社会福祉協議会・防災ボランティア団体

子育て支援団体 など

<具体的な活動の例>

地域の「アレルギーの会（患者会）」の活動支援（定例会への参加）・設立支援

アレルギーに関する勉強会や講演会の開催（アレルギー大学の DVD を活用）

ミニアレルギー大学の講師

患者会や患者家族と自治体の関連部署との橋渡し役（コーディネーター）

アレルギーに関する正しい知識の普及 など

<企業における活動の例>

職員に対するアレルギーに関する正しい知識の普及

アレルギーに関する商品開発やアレルギー疾患を持つ患者家族の QOL の向上のための業務 など